

資料 しまだエコ活動レポート

平成30年度に登録及び報告された「しまだエコ活動」を紹介します。なお、各活動については、市ホームページにも掲載しています。

NPO法人 しまだ環境ひろば

◎活動名 竹林の保全・管理

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、発足当時から会の中に「水とみどりの分科会」を設置し、活動の中核に「放置竹林の再生」を掲げて活動を継続し今日に至っています。

島田市は、国道1号線や、はなみずき通りの山すそ、伊太地区にわたって放置竹林が広がり、集中豪雨の際の土砂崩れが非常に心配されます。

しまだ環境ひろばでは、これらの地域の孟宗竹の間伐や皆伐にトライしてきましたが、会員の高齢化や後継難で現在は、伊太八幡様西竹林の維持保全に止まっています。

伊太八幡様西竹林（約 2,000 m²）は、果樹園に再生していつもきれいに維持管理をしています。

平成30年度は、つぎのような活動を行いましたので報告します。

■ 活動は月1～2回、作業前の安全確認



■ 竹の子狩りのため残した竹林も整備されています。



■ 1月 22 日伊太八幡様西竹林 作業小屋の修復作業を行いました。当作業小屋は矢倉山登山を目指すハイカーさんの休憩小屋にも開放しています。丈夫な筋交いを入れて頑丈な小屋に生まれかわりました。もう十年くらいは持ちこたえそうです。作業終了後記念撮影



■ 法面や作業道の整備作業



■ 沢沿いに植えたアジサイやもみじも健在



◎活動名 梅林の保全・管理

●活動実績

島田市の荒廃農地は、主に山地の竹林・茶畑・梅林で拡大しています。しまだ環境ひろばでは、5年前の平成24年度に、伊太地区の地主から放置された梅林の再生と維持管理を依頼しました。

会員のSさんが、枝の剪定や摘果技術を習得し、数人の会員が補佐をしてこの6年間維持管理を続け平成30年度も、2月にはきれいな花が咲き、6月には大変元気な実を付けました。

毎年6月第一土曜日には、希望する市民に集まってもらい、梅狩りを実施しています。

■平成31年2月、今年もきれいな花を付けました。

■主担当のSさんが丹精込めて梅の剪定や養生作業をやっていきます。



(3) 平成30年度も豊作で、6月2日(土)、市内の市民希望者7名と会員5名 計12名が集まってしまだ環境ひろば塾「梅の収穫と自然を学ぼう」を開催しました。

■一般市民参加者も楽しんで梅狩り



■収穫した梅は、計量し参加者に安価で斡旋



◎活動名 御仮屋市民農園の開設と維持管理

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、平成24年10月、市の農林課さんや県の農林事務所さんの支援で、「御仮屋市民農園」を開設しました。平成29年度で丸5年になり5年契約を更新し今日に至っています。

現在は25名の市民参加者が思い思いの穀物や野菜を栽培して家庭菜園を楽しんでいます。元気のなかった高齢の父親が、農園で野菜を作るようになってからすっかり元気で毎日出掛けて行く、と息子さんから感謝の言葉を頂くとか、日曜日に親子のふれあいの場になっているなどうれしい報告が届いています。

農園の管理は楽ではありませんが、主管理担当のHさん・Sさんの二人の会員はやりがいを感じています。

■Yさんは菜園を板で仕切ってきれいに整備



■Wさんは野菜をうまく作ります。



◎活動名 休耕田を利用した「コミュニティ農園」で地産地消

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、もう10年前の平成21年、耕作を断念し、雑草が蔓延して困っていた農家に交渉しては、畑に再生、秋から春は菜の花を栽培し、花を楽しみ、菜種油を搾油して近くの保育園に寄附、夏から秋は大豆を栽培し、「新春 手づくり味噌体験会」を開催し多くの市民から評価をされてきました。平成30年6月、地主さんから近くの食品スーパーの駐車場にするとのことので返還をいたしました。幸い250㎡程は継続使用が許可されましたので、引き続いて5人の市民が野菜作りに励んでいます。

荒廃農地の再生と、農園開設で“地産地消”にも一役買えたと思っています。

■Kさんはいつもネギをうまく作ります。



■Sさんのエンドウ豆畑です。



◎活動名 小水力発電の研究と導入促進

●活動実績

今、世界各地で、これまでに経験したこともないような豪雨や突風や干ばつなど異常気象が起っています。明らかに地球温暖化の影響であり、2015年12月、世界の多くの国々がパリに集まって開催された、「第21回国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）」にて、2020年以降の地球温暖化対策の新たな国際的枠組みを定めた「パリ協定」が採択されました。

すなわち、産業革命前からの世界の気温上昇を2度未満にすることを目的とし、各国には1.5度未満に抑えることを求め、今世紀後半には温室効果ガスの排出量と吸収量の均衡を求めています。

日本でも、2016年11月にこれを批准し、エネルギー基本計画を策定して国を挙げて、再生可能エネルギーの創出や省エネ対策に取り組んでいます。

島田市でも、平成25年に「第2次島田市環境基本計画」が策定され、平成30年は5年目の中間見直しを実施され、「島田市地球温暖化対策実行計画」が追加されて平成31年3月に発効されます。

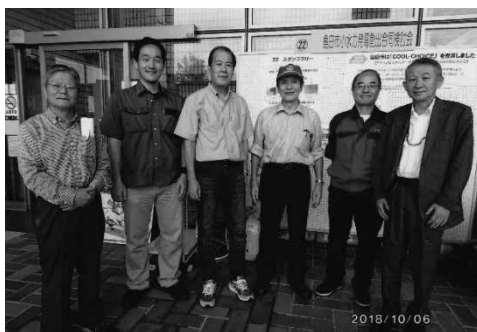
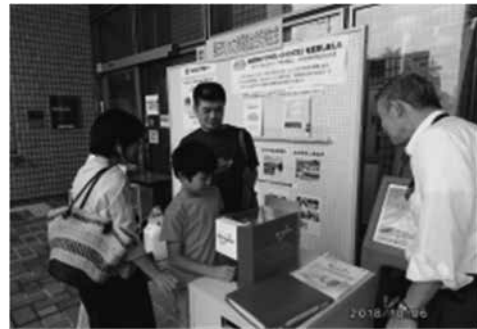
さて、しまだ環境ひろばは、設立当初から、地球温暖化防止対策を掲げて活動してきましたが、2010年「小水力発電創出検討会」を立上げ、2015年島田市ゆめ・みらい百人会議の中で、島田市市内に、行政（環境課・農林課）・大井川土地改良区・しまだ環境ひろばをメンバーとして、「小水力発電創出合同検討会」を立上げて今日に至っています。

活動内容は、小水力発電創出の研究が主ですが、市内に豊富に流れている大井川用水路を使っての小水力発電モデルの立上げも課題の一つに掲げています。

平成30年度は、つぎのような活動を行いましたので報告します。

□平成30年10月6日に開催された、「島田市暮らし・消費・環境展」に「小水力発電ブース」を出展し、大井川用水路のどこかにモデルを作ろうと、市民にアピールしました。

子どもたちは小水力発電機模型による電気の発電に興味深々！係員も熱心に説明しました。



当日は、会場にて、平成29年度に小水力発電創出合同検討会で製作した「小水力ガイドブック」を興味ある市民に配布しました。

□12月13日～15日に、富士宮市で開催された、「全国小水力大会」にKさんが出席

テーマ1.「地域貢献と経営の両立」パネルディスカッション 聴講の感想

公営電気事業は水力発電により発電した電気を小売事業者へ売電することで地域社会に貢献することができて、交付金が市町村に交付される。ここを使って何かヒントをつかみたい。

長泉町の発電所は創立時に見学に行って内容は解っているが、あれから3年経って、3機目が稼働状態である。これはいかに事業体をうまく回しているなと思った。役場の人間が（発表者）取りまとめている、世間に知らしめている様子が解った。ESD環境教育にも力が入っており順調に回っている。このような取りまとめを役場の情熱ある人間がやっているが、いつかは人が変わっても持続できるように、今第2の人物を教育していることを聞いてさすが長泉だと思った。町の人口も増えていることを聞いた。

テーマ2.「農業用水エネルギーの新たな可能性について」パネルディスカッション聴講の感想

静岡県農業水利施設を活用した小水力等利用推進協議会の一般的な話が中心で、これといった新しいものは見当たらなかった。この協議会も最近は開かれていない。

小松氏の富士宮市北山地区にある小水力発電所は一度見学に行ったところであり、来年4月に稼働予定で、なかなか頑張っているなと思った。小松氏は市議の経験から熱心に取り組んでいて、今はNPO法人になって地域の活動として、企業を抱き込んで、教育面でも活動をやっている。市議のベテランとして、事業の創始者として動くのを誇りに思っている人である。

□2月28日大井川の清流を守る研究協議会（事務局：川根本町）主催の「大井川用水を学ぶ視察会」に会員のKさん夫妻が参加しました。写真は「菊川頭首工」と「川口発電所」です。



◎活動名 市民の環境意識向上のための広報活動

●活動内容

しまだ環境ひろばは、島田市環境基本計画に5つの環境分野（自然環境・生活環境・資源循環・地球環境・環境教育）にわたって書かれている市民の取組みを実行しています。

しかしどんなに良い活動をして、独りよがりの活動になったり、一般市民の理解を得られなければ効果は半減します。従って、広報活動（展示会へ参加・他団体との協議・公共施設やブログなどを活用した情報発信など）には、力を入れて来ました。

平成30年度は、広報活動を次のように実行しましたので報告します。

□「島田市暮らし・消費・環境展2018」に出展して来場者にアピールしました。

■10月6日「ごみは宝だ！燃えるごみを半分に減らそう」の大看板を製作し訴えました。



■実行委員長として開会の挨拶
市長さんも駆けつけてくれました。



■しまだ環境ひろばブースにも大勢の市民が！



■地域交流センター 歩歩路掲示板でPR



□しまだ市民活動センター主催「市民活動団体 活動紹介シート」に投稿し、同センターのフロア掲示やホームページで紹介されています。

□島田市が毎年発行している、「島田市環境報告書」には、環境保全活動登録制度に登録している市民活動団体の活動状況が写真入りで紹介されていますが、しまだ環境ひろばの活動も毎年度10ページに渡って詳しく紹介されています。

□しまだ環境ひろばでは、平成21年（2009年）に、「はてなダイアリー」にホームページ（ブログ）を開き、ほぼ毎日更新しています。会の活動紹介や、森づくりや荒廃農地問題・地球温暖化防止・省エネ・食生活・環境教育などなど、時の話題をテーマにして投稿しています。

平成31年3月31日現在で、閲覧数が累計2900回に達しています。

◎活動名 しまだ環境ひろば塾の開催（テーマ・目的・参加人数などは一覧表を参照）

●活動実績

しまだ環境ひろばは、島田市の環境基本計画（第1次・第2次）の策定に関わり、その中に書いた市民の取組みを市民の先頭に立って実行してきました。市民環境教育は取組みの一丁目一番地であり、平成23年までは市から委託されて「島田市 市民環境塾」を、平成24年からは、「しまだ環境ひろば塾」に衣替えして連続16年間継続開催してきました。どんなに良い活動をして、それを市民に普及・浸透しなければ意味がありません。しまだ環境ひろばは、これからも市民環境塾を通して、環境意識の高揚を図って行きます。

平成30年度も、「しまだ環境ひろば塾」を次のように開催しましたので御報告します。

開催場所・目的・内容・参加人数など詳細は、別紙一覧表を御参照ください。

- (1) 平成30年6月2日「梅の収穫を通じて自然について考えてみよう」を開催しました。
市民のみなさんは梅の実を家に持ち帰って、梅干しやジュースに加工します。



- (2) 平成30年6月4日 身近な水環境の全国一斉調査「相賀谷川の水質調査をしてみよう」を相賀の里を良くする会と共催して、相賀小学校5年生と実施しました。

■川から水を汲んで、温度や水質を検査

■温度や水質の検査結果を調査用紙に記録



- (3) 平成30年9月30日環境課さんと共催「ふじのくに地球環境史ミュージアム-大井川扇状地の自然と人-見学と扇状地の湧き水と地下水の視察」を企画しました。本講座は、市民35名の公募参加や、資料の準備など万全な準備を整えましたが、台風24号の来襲で已む無く中止し、平成31年度開催へ順延しました。大井川に関わる勉強会はこれからも継続していきます。

- (4) 平成30年12月10日・平成31年1月7日・13日・16日・19日・27日・2月10日の7回「手づくり味噌の体験会」を開催しました。（3日間は相賀の里を良くする会と共催）

手づくり味噌の安全性と美味しさが評価されて、参加者はすっかりリピート化しました。

■ 朝早くから大豆の煮込みを開始



■ 煮込んだ大豆に糀と塩を混ぜてミンチ機に



■ 糀と塩を混ぜて準備



■ ミンチをカメに仕込んで手づくり味噌完成



(5) 平成30年10月6日 しまだ環境ひろば 設立15周年記念行事「島田市暮らし・消費・環境展 5周年記念」環境アニメ映画2本立て「地球との約束・私たちの未来」上映会を開催しました。



アニメ映画会場

平成30年度 しまだ環境ひろば塾 開催実績一覧表

対象者	番号	テーマ名	目的(狙い)	出席者	講師	所要時間	開催日	開催場所	参加人員	プログラム・実施内容
一般市民	1	「梅の収穫を通じて自然について考えてみよう」	平成26年、耕作放棄された荒廃梅林を再生し、梅の実がついて5年目、梅の収穫という自然体験をしながら、農家の苦勞を分かち合うことを目的とする。	一般市民	しまだ環境ひろば	4時間	平成30年6月2日(土)	伊太・観音様 しまだ環境ひろば 梅園	市民7名 ひろば5名 計12名	当日は参加市民に、梅の収穫までの農作業を説明の後、収穫・選別・計量・出荷を体験してもらった。しまだ環境ひろばの里山の再生活動を説明し共感を博した。
	2	ふじのくに地球環境史ミュージアム「ホットピックギャラリー 大井川扇状地の自然と人」の見学と扇状地の湧き水・地下水を巡ってみよう。 本件は台風24号の来襲により已む無く順延したが、準備万端であるので捲土重来を期すこととした。	私たちは、南アルプスを源流とする大井川の恩恵を毎日享受しています。今回、ふじのくに地球環境史ミュージアムや扇状地に今でもあふれる湧き水や地下水を見学し大井川の歴史・地理・人との関わりや利活用の勉強を目的とします。	一般市民	しまだ環境ひろば 島田市環境課	8時間	平成30年9月30日(日) 急遽中止	ふじのくに地球環境史ミュージアムと大井川中下流域	市民32名 ひろば2名 環境課1名 計35名	ふじのくに地球環境史ミュージアムの協力により、特集ギャラリー「大井川扇状地の自然と人」を見学できることになり、帰路に今でも散在する大井川の湧き水や地下水を見学し、大井川との関わりや利活用を考える。
	3~6	「新春 味噌の手づくり体験会に参加しよう NO. 1. 2. 3. 4」4回開催	しまだ環境ひろばでは、休耕田を利用して、農業を一切使わないで大豆を栽培・収穫しています。一般市民に大豆畑を農業の体験場所として提供し、収穫をした大豆を使って手づくり味噌の体験会を実施しています。	一般市民	しまだ環境ひろば 東光寺 園田農園 園田巴義さん	一回 7時間	平成30年1月10日(月) 平成31年1月7日(月) 13日(日) 27日(日)	東光寺 園田農園	市民29名 ひろば4名 計33名	前日は、豆洗いと浸し作業 当日は朝早くから釜戸への火入れを行い、豆が指で軽く押さえてつぶれる程度まで煮込み、冷ましてから塩と麹と豆を混ぜてミンチ状にしてカメに仕込んで終了。
	7~9	「手づくり味噌の体験会」NO. 5・6・7」3回開催 共催	しまだ環境ひろばでは、相賀地区で立ち上がった、自然環境を基盤とした地域起こし「相賀の里を良くする会」を支援しています。長年培った「手づくり味噌づくり」を同会にトランスファーして、今年度は3回実施した。	一般市民	市・農林課 相賀の里を良くする会 東光寺 園田農園 園田巴義さん しまだ環境ひろば	一回 7時間	平成31年1月16日(水) 19日(土) 2月10日(日)	東光寺 園田農園	市民45名 良3名 ひろば4名 計52名	参加した市民は、前日の豆洗いや浸し作業から当日の味噌の仕込みまで、講師の指導で懸命に自分用のカメに仕込みました。みんな満足感一杯でした。
児童 一般市民	10	身近な水環境の全国一斉調査「相賀谷川の水質調査をしてみよう」	しまだ環境ひろばでは、平成21年~24年まで、全国一斉調査に参加して、大井川やその支流の水質調査をしてきました。今回相賀の里を良くする会と共催して再開、相賀小学校教頭先生の賛同を頂いて、5年生の環境教育の一環で実施することになった。昨年度は4年生を対象に開催した。	相賀小学校 5年生	しまだ環境ひろば 相賀の里を良くする会	3時間	平成30年6月4日(月)	相賀谷川 5拠点	相賀小 5年生 9名 先生1名 ひろば1名 他1名 計12名	全国調査事務局から送られてきた調査キットと、その他用具を揃えて、児童たちにその使い方を説明し、あとは児童たちの自主性に任せて6か所の水質調査を行った。相賀谷川の水質は総体的にきれいだが、人家に近いほど汚れが目立ち、人が水を汚していることを理解した。
	11	しまだ環境ひろば15周年記念行事 島田市くらし・消費・環境展5周年記念行事 環境アニメ映画上映 「地球との約束・私たちの未来」	しまだ環境ひろばは平成15年8月に設立以来、島田市環境基本計画に書いた市民の取組みに邁進してきました。今平成30年は創立15周年を迎えました。同時に島田市くらし・消費・環境展も、くらし展・環境展が合同以来、5周年を迎え、記念行事を開催し、この機会に市民の環境意識を更に高めるべく記念行事を開催する。	一般市民 小学校 高学年生	しまだ環境ひろば	2時間	平成30年10月6日(土)	プラザ おおるり 第一会議室	児童 父兄 76名 ひろば 4名 計80名	環境省が製作したアニメ映画 2本を環境課経由で借用し、午前午後1回づつ上映した。

◎活動名 環境保全活動の進行管理の推進

●活動実績

島田市は環境基本条例に基づき、「島田市環境基本計画」を策定し、計画に盛り込んだ望ましい環境像の実現のため環境維持・保全活動を展開し、PDCA (Plan Do Action Check) を毎年実行し、その結果は、「島田市環境報告書」としてまとめ、公表されています。

しまだ環境ひろばは、島田市が環境基本計画策定のため集めた「環境市民百人会議」を母体年設立された市民環境活動団体ですので、第一次環境基本計画が発令された平成15年以来、15年間継続して自らもPDCAをしっかりと実行し、今日も続けています。

平成30年度も次のとおり、PDCA活動を実効しましたので報告します。

□まず、4月21日、通常総会を開催し、議案書に基づいて今年度の活動報告・決算報告・新年度事業計画・予算計画を審議、承認し、その結果は議事録にまとめられました。

■通常総会の様子

■監査役から厳しい、事業・決算チェックを受ける。



□承認された事業実績及び決算結果は、4月末に県の所管(くらし環境部)に報告、併せて法務局に役員選

任登記及び財産登記を行いました。活動結果は県のホームページに掲載されています。

□また、しまだ環境ひろばは、島田市「しまだエコ活動制度」に9つの活動を登録していますので、4月初旬に活動報告書を島田市環境課に提出しました。

この活動結果は、「島田市環境報告書 平成30年度版」に掲載され、12月12日に開催された環境課主催の「平成30年度 環境報告会」で紹介されました。

□通常の月次活動報告や、月次活動計画は、定例会でフォローしています。

□平成31年1月 静岡県暮らし・環境部主催の「NPO法人の協働事業の実施等に関する調査」に協力しました。

□平成30年12月島田市市民活動センター主催「市民活動紹介シートづくり」に協力しました。

この結果は、市民活動センター公式サイトに公開されています。

しまだ環境ひろばは、行政や市民団体同志の協働や連携が高まって行くことを期待し、これからもPDCA活動の一環として協力をしていきます。

◎活動名 生ごみの堆肥化の普及活動と生ごみ分別収集の調査・研究

●活動実績

しまだ環境ひろばは、会の設立以来この15年間継続して、「生ごみの堆肥化」に精力的に取り組んできました。近隣の生ごみ処理先進都市は限なく視察し、その取組みを学習してきました。

そうしてたどり着いたのが、「さんさんボックス式生ごみ堆肥化法」と「腐葉土式生ごみ堆肥化法」です。今、島田市は、生ごみを消してしまう「キエーロ方式」を推奨し、補助金をつけて普及を図っていますが、しまだ環境ひろばは、2つの方法を推奨したいと思っています。

1. 市民の中には、自家菜園やベランダで野菜栽培を楽しんでいる方が大勢います。そういう方には次の2つの生ごみ堆肥化方法を推奨します。

(1) 堆肥を比較的多く希望する方には「さんさんボックス法」お奨めします。

落ち葉と米ぬかと赤土と使用済みの食用油を混ぜて床剤を用意し、生ごみと混ぜて発酵を促す方式で時間はかかるが良質の堆肥がたくさんできます。(作り方マニュアルあり)

(2) 市販の腐葉土と、米ぬかと、使用済食用油を混ぜて床剤を作り、生ごみと混ぜて発酵を促す方式で、非常に簡単に生ごみの堆肥が出来上がります。(作り方マニュアルあり)

2. 堆肥はいらないが、環境保全には高い関心を持ち、生ごみを自家処理したいと思っている市民も多い。

そういう市民には、「キエーロ方式」は最善であり是非推奨したい。

しまだ環境ひろばでは、平成30年度、次のような活動をしましたので報告しました。

□腐葉土式生ごみ処理器

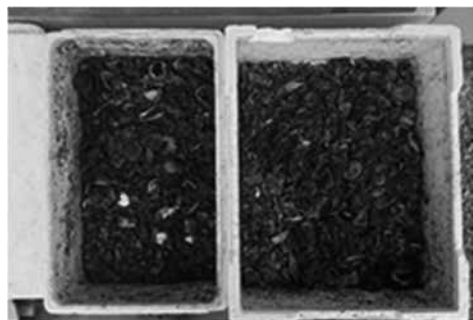
■生ごみバケツ・バケツ・カップなど
小道具を用意し、生ごみを処理



■生ごみと床剤を混ぜて麻袋に入れて
2週間保存し堆肥ができます。



■2週間後、堆肥保管箱に移して畑へ



■さんさんボックス式生ごみ処理器



大鐘測量設計株式会社

◎活動名 伊太谷川清掃活動

●活動実績

平成30年度の活動は、伊太谷川の清掃活動を3回実施しました。回収したごみは会社に持ち帰り、分別処理を行いました。活動内容は以下のとおりです。

伊太谷川清掃活動			
日時	参加人数	場所	ゴミ回収量
H30.6.1	12人	静居寺大橋～菰川橋 約700m	菓子・パン袋類、ペットボトル、空き缶等
H30.10.10	10人	静居寺大橋～菰川橋 約400m	
H30.11.26	13人	静居寺大橋～菰川橋 約700m	

H30.6.1



H30.10.10



H30.11.26



登録されている活動以外に CO² 削減の取組や総排水量の削減の取組、廃棄物排出量削減の取組を行い、これらの活動を環境経営レポートとして作成し、公表しています。

NPO 法人 しろやまゆいの会

◎活動名 地域の自然環境の保持と住民の生活向上

●活動実績

しろやまゆいの会では、自然の環境の保持や地域住民の健康で文化的な生活の向上を目指して、下記の6事業について活動を行い、活力ある地域づくりに寄与しました。

平成 30 年度 事業報告					
事業名	事業内容	実施日	従事人数	実施場所	
自然とのふれあい事業	湯日っ子の森草刈り	7/14、11/17	50	空港アクセス道路 北側法面	
	湯日っ子の森管理体験	2/17	3		
	太陽光発電施設芝桜等管理	4/1~3/31	96		
	芝桜管理	5月~月1回			
	芝桜植付け	3/12	10		
文化の伝承事業	炭焼き窯周辺管理	5/27、12/15	4		炭焼き窯
	炭火焼体験イベント	12/24、2/10	12		
自然保護事業	下草刈り、コサ切り	11/8、12/1、12/8、 12/10、1/5	28	長間谷	
	間伐	1/17~1/22、1/24、2/3	52	谷田川報徳社	
	草刈り	5/26、5/27、7/15、7/15、 8/5、8/10、8/11、9/15、 9/17、11/4、12/16、12/19	141	養勝寺川	
	竹林整備、竹林間伐	1/10、1/25	17	原の平吹木線沿い	
	草刈り	7/8	5	湯日小学校校庭	
しろやま公園 活用事業	七夕祭り準備	8/3	9	しろやま公園	
	七夕祭りイベント	8/5	28		
しろやま公園 管理事業	除草、剪定 芝刈り	4/13 6~11月(月1回)、3/12	52		
しろやま公園 整備事業	ベンチ設置	11/17	3		

水と里山を守る会

◎活動名 里山・里地整備 荒廃耕作地を再耕作

●活動実績

市街地周辺の中山間部や農家の裏山の茶畑などが耕作放棄され続け竹林に遷移しています。速い速度で拡大する暴走竹林は手の入らなくなった荒廃したスギ・ヒノキ林に侵入し枯死させて一帯を大きく変貌させています。「水と里山を守る会」では荒廃竹林の伐採や荒廃が著しい里山の再生、荒廃里山樹林森の整備を行っています。平成30年度につきましても、下記のとおり活動を実施しました。

(1) 耕作放棄田畑の整備・活用

『ソバ蒔きのための耕運、畦づくり』

8月28日、9月18日、9月19日



ソバの収穫（コンバインなし、手作業で刈取る 天日干し 脱穀 篩分け）

朝、8時から作業 すべて手作業

11月5日、11月6日



『トマトソース用（料理用）トマトの栽培』

夏の朝、一晩できれいな完熟トマトが出来ますが、朝、四時ごろからカラスが来て一番おいしいところを突いてしまう。朝市や帯通りの市に出しています。（無農薬を原則としているので好評です。）

4月16日、4月20日、5月8日、6月3日、7月18日、7月19日



(2) 荒廃竹林の整備

『間伐木材・竹林利用工事作業』

荒廃竹林の竹利用は多義に亘る。畝抑え、枝まくらなど使いみちが多い。



(3) 静岡県土木・市土木開催の「大井川水系下流ブロック河川整備計画検討会」参加

対象は大井川に注ぐ大津谷川、大代川など8河川。災害防止及び環境保全のための河川砂防提のあり方について意見交換した。本会の趣旨にも則ったものでもあった。

ふるさとの森

◎活動名 森のクラフト教室

●活動実績

ふるさとの森では、自然素材である地元の木材を利用して工作を行う「森のクラフト」を実施しています。子どもから高齢者まで、自分で木を切り、形を工夫して作成します。平成30年度につきましても、様々な場所に出向き開催しました。

実施日	参加人数
4月22日	静岡市沼上清掃工場
5月7日	島田市島地区
7月1日	金谷公民館
8月9日	浜松市有王サッカースポーツ少年団
10月6日	島田市おおるり
10月7日	静岡市沼上清掃工場
10月20日	金谷公民館
11月25日	金谷公民館



森のクラフトの様子

御林守河村家を守る会

◎活動名 文化財周辺風景の維持管理

●活動内容

島田市指定文化財「河村家住宅」及び周辺風景の維持管理活動

活動日	活動内容
H30年4月30日	石畳草取り開始
5月5日	石畳草取り完了
5月6日	前庭草刈り開始
5月10日	前庭草刈り完了
6月1日	シルバー人材センター草刈り開始
6月3日	森川造園 母屋樋掃除
7月13日	石畳草取り開始
7月16日	石畳草取り完了
7月23日	前庭及び周辺草刈り開始
7月30日	前庭及び周辺草刈り完了
9月20日	文化財邸内及び周辺草刈り開始
9月25日	文化財邸内及び周辺草刈り完了
10月23日	シルバー人材センター草刈り開始
10月28日	シルバー人材センター草刈り完了
11月10日	森川造園邸内庭園手入れ開始
11月12日	森川造園邸内庭園手入れ完了

JA 大井川女性部島田ブロック

◎活動名 環境美化ゴミ拾い運動

●活動内容

活動日：平成30年9月1日（土）午前8時～約1時間程度活動

参加人数：女性部島田ブロック部員およびJA役職員77名

JA大井川女性部島田ブロックでは、例年9月の第1土曜日大井川河川敷にて、環境美化活動（ごみ拾い運動）を行っています。農業になくてはならない水に感謝を込めて、河川敷の美化活動を部員の方々とJA大井川役職員にて行いました。

平成30年度も忙しい時期にも関わらず、たくさんの方の参加いただきました。

以前はたくさんの空き缶や吸い殻・リサイクル法に抵触しない家電製品などのごみが散在していましたが、今回は花火の焼けカスなどが集まりました。

手持ち花火のごみも毎年のようにありますが、今年は打ち上げ花火の燃えカスのようなものがたくさん花壇周辺にありました。

火事が不安との声が部員よりありましたので、ご報告させていただきます。

この環境美化活動は平成8年より継続して行っています。

平成31年度も継続して活動予定です。



大井川河川敷にて清掃活動の様子

特定非営利活動法人 里山仕事・しょんた塾

◎活動名 里山と諏訪原城跡の整備

●活動内容

1. 塩ノ田の草刈り、倒木整備：主に3月～9月が主な作業日累計作業者数は24人でした。
2. 諏訪原城跡でウッドチップ敷設：「しずぎんふるさと環境保全基金」からの助成を得て、本丸曲輪周辺の歩道約180mに16㎡のチップを敷いた。文化財係とかなや退職者福祉協議会から人的応援と資材の提供を受けて実施。
3. 諏訪原城跡の倒木整備：平成30年秋の台風により城跡内の惣曲輪全域、本輪の南側、二の曲輪で倒木の被害が発生し、10月から1月にかけて計4回整備作業を実施。同時に諏訪神社前の倒木も地元も自治会の要請を受けて整備した。
4. 大代での倒木整備、倒竹林整備：平成27年度の県「森の力再生事業」で干ばつを行った山で、台風被害の倒木20本を整備した。また、個人所有の竹林で、台風被害の整備を1日かけて整備した。

ウッドチップ敷設



塩ノ田 草刈り



台風被害の倒木



里山どんぐりの会

◎活動名 里山づくり(人工林・雑木林の育成)

●活動実績

平成 30 年度				
活動内容	時期又は年月日	回数	活動場所	備考
集落隣接放置竹林・侵入竹林の整備	H30.4/1.5.12.2 2.26.28.29	7回	大草 上反方	(約 0.6ha)
農道沿いの傾斜木の伐倒処理	H30.11.27	1回	落合農道沿い	
大草 上反方植樹場所の雑草処理	H30.5/9 7/19	2回	大草 上反方	(約 0.1ha)
大草 菅ヶ谷荒地の整備	H30.5.12	1回	大草 菅ヶ谷	(約 0.2ha)
幼稚園七夕用竹の提供	H30.7.2	1回	阿知ヶ谷	豊田幼稚園へ 20本提供

◎活動名 自然活動事業を通じ子供の健全育成を図る

●活動実績

平成 30 年度				
活動内容	時期又は年月日	回数	活動場所	備考
チャレンジ教室準備(傾斜木の処理)	H30.4.7	1回	大草 八幡南	(約 0.2ha)
チャレンジ教室(中学2～3年生)タケノコ掘り体験に協力:生徒6人、指導員3人、スタッフ5人	H30.4.19	1回		
春の大作戦準備	H30.4.14	1回	大草 上反方	6人参加
春の大作戦(どんぐりの苗植えて、タケノコを掘ろう)一般参加者28人、小さな親切運動32人、スタッフ6人	H30.4.21	1回		66人参加 植樹30本
大作戦第2弾(流しソーメン用竹樋と竹コップを作ろう)	H30.8.4	中止	大草 八幡南	
大作戦第3弾 (どんぐりの森を作ろう)	H30.10.20	1回	大草 菅ヶ谷	6人参加 植樹20本
大作戦第4弾 (どんぐりの森を作ろう)	H31.3.9	1回	大草 菅ヶ谷	7人参加 植樹21本

島田瓦斯株式会社

◎活動名 エネルギー・環境事業

●活動実績

島田ガス(株)は島田市を中心にガス・でんきをはじめとするトータルエネルギーを提供する企業の責務として、地域に根ざした環境活動に参画し次世代教育の支援をすることを進めています。

①島田市暮らし・消費・環境展

平成30年10月6日に「島田市暮らし・消費・環境展」に参加しました。島田市民の皆様へ、供給している都市ガスの原料である「天然ガス」の供給安定性や環境優位、また都市ガスより水素を取り出して発電する「エネファーム」のCO₂削減の絶大な効果について、パネルや資料による展示、映像投影による広報活動を行いました。

環境展の直前（10月1日）に襲った台風24号の影響で、多くの家庭が停電の被害に遭われ、その影響からか家庭用燃料電池（エネファーム）には、多くの方に関心を持っていただきました。

<当日の様子>



②次世代教育活動

次世代を担う子供たちを中心に、エネルギーや環境についての重要性を学んでいただくための取り組みとして島田ガスでは出張授業を実施しています。

平成30年8月16日には島田市田代の田代環境プラザで、「平成30年度夏休み親子環境学習講座」を島田市と共同開催いたしました。静岡ガス株式会社の岩ヶ谷昌敏氏による、「環境にやさしい天然ガス」の内容で、マイナス196℃の液体窒素を用いて物質の状態変化についてわかりやすい実験を行いました。

天然ガスは、採掘地にて超低温処理により液化され、堆積を気体比1/600にすることで、タンカーによる輸送を可能としており、清水港内のLNG基地にて再度気化され、都市ガス導管網を通じ、お客様にお届けしています。参加された皆さまには、冷却実験を通じて楽しみながら、仕組みを御理解いただきました。

<当日の様子>



③食育・全国クッキングコンテスト

昨今、子供たちの食生活の乱れが心身の発達に及ぼす影響が指摘されるなか、「食育」が注目を集めています。「食育」とは、「食」に関する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むことです。食べることは生涯にわたって続く基本的な営みですから、子供はもちろん、大人になってからも「食育」は重要です。健康的な食のあり方を考えるとともに、だれかと一緒に食事や料理をしたり、未来ある子供たちのために、栄養の大切さ、食事の自己管理能力を高めるものです。その食育運動として、「一緒に作ると楽しい！おいしい！！」のスローガンに全国親子クッキングコンテストを他のガス事業者と共に開催しています。

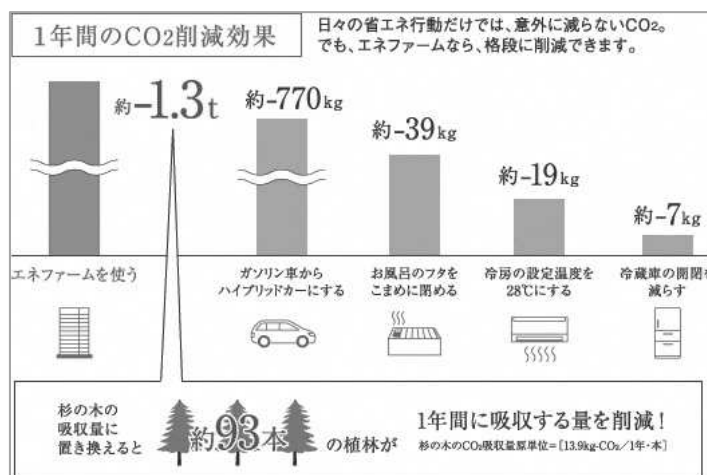
2018年第12回大会では、多数の応募者の中から1組の親子代表が県内地区予選に選出し、親子が協力し、オリジナルのレシピを完成させました。

④エネファームによるCO₂削減

温室効果ガスとして主に問題となっているCO₂排出量削減について、近年のクリーンエネルギーの代表である水素を利用した家庭用燃料電池【エネファーム】は、発電時に発生する排熱でお湯をつくるなど、CO₂削減に大きく貢献し、年間のCO₂削減量は1.3t。これは、杉の木が1年間に吸収するCO₂の量で約93本分に相当します。

都市ガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させることで発電し、その際に発生する熱を給湯や暖房に利用するエネファームは、CO₂の発生が少なくエネルギー利用効率が非常に高いことから、地球温暖化防止対策の切り札として期待されており、当社も積極的な普及を図っております。

島田市におきましても、平成31年4月より、住宅用太陽光発電設備かた創り出す再生可能エネルギーの用途を「売却」から「自家消費」へシフト転換を図り、再生可能エネルギーの有効活用を図ること、また、かていにおける省エネの推進の観点から補助金制度の受付が始まっております。



報徳・サン・シンコーグループ

◎活動名 島田市総合スポーツセンター外3施設の地球にやさしいエコ活動

●活動実績

平成30年度は次のような活動を行いましたので報告します。

- ・3Rの推進
- ・グリーン購入
- ・エコドライブの推進
- ・ノーカーデーの推進
- ・グリーンカーテンの設置 (写真)
- ・館内共有部分26℃設定 (写真)
- ・冷暖房期間の設定

(自然換気期間 3.4.5.6月、冷房期間 7.8.9月、暖房期間 12.1.2月)

- ・子供水泳教室 シャワー10カウントの推奨

